

さんけん新聞

発行
NPO法人
三段峡—太田川
流域研究会
(代表・本宮炎)

〒731-3813
広島県山県郡
安芸太田町
柴木1734
090-34213046
◇
<https://sanken-hiroshimaorg/>

一口メモ

▼春夏秋 川遊び
夏、長淵では川遊びをする家族連れやグループを見かける。泳いだり、飛び込んだり、魚を追いかけたり。五年前からのカヤック体験に、昨年からはタンダップパドルボードが加わった。

▼春夏秋冬 川遊び
夏、長淵では川遊びをする家族連れやグループを見かける。泳いだり、飛び込んだり、魚を追いかけたり。五年前からのカヤック体験に、昨年からはタンダップパドルボードが加わった。

▼春夏秋冬 川遊び
夏、長淵では川遊びをする家族連れやグループを見かける。泳いだり、飛び込んだり、魚を追いかけたり。五年前からのカヤック体験に、昨年からはタンダップパドルボードが加わった。

七月六日夜に発生した西日本豪雨災害はさんけんが、ひろしまこども夢財団で被災した安芸郡坂町小屋浦の子供たちへ相談して実現した。さんけんが窓口と保護者二十七人が八月九日、深入山で、安芸太田町内の団体、個人楽しいひとときを過ごした。支援ツアーへ協力を呼びかけた。

被災した坂町小屋浦の子供たちの支援ツアー

深入山に元気な声

さんけんが調整役 団体・個人が協力 安芸太田らしいメニューでもてなす



ハンモックに揺られたり、アマゴの塩焼きを頬張ったりして、安芸太田の夏を楽しんだ子供たち

子供たちは深入山の麓で安芸太田産のとうもろこしアマゴのつかみ取りに歓声やトマト、百個以上の天むす、地元産の漬物などがずらりサッカードールをかけた。と並んだ。子供たちは自分森の中で揺られたハンモックが人気だった。昼食には塩焼きして頬張った。地元からはバスの貸し出しや送迎、サッカードール指導、用具貸し出し、施設準備やコ

具貸し出し、施設準備やコ

小屋浦夏祭りでの交流

子供たちを励ますために八月十九日、坂町小屋浦で夏祭りが開かれた。さんけんから本宮宏美事務局長と伊藤佐知子会員が、安芸太田の野菜などを届けて交流した。さんけんTシャツを見た子供たちは、「また、行きたい」と深入山の思い出を話した。



石樋の東屋上流で発生した落石

豪雨 落石・土砂崩れ多発

三段峡では七月六日と八月十三日の豪雨のため、多くの場所ですり崩れ、落石、倒木が制限された。探勝路の通行木があり、七月七日には峡内



ゴマシジミは環境省の絶滅危惧ⅠB類指定。草原の減少と採取で激減している。

ゴマシジミ 十四個体を確認

さんけん和西中国山地自然史研究会が八月、深入山行は見られるが、個体数が少ない。生息環境の整備が必を八回実施し、十四個体を要」と指摘した。ゴマシジミは環境省の絶滅危惧ⅠB類指定。草原の減少と採取で激減している。

「清掃歩く会」参加者募集

- ◆9月23日(日)10時~15時
- ◆正面口集合。終了後に懇親会あり
- ◆軍手、長靴、タオル、飲料水を持参
- ◆参加費 1000円。正・賛助会員無料
- ◆申し込み締切 9月20日
- ◆問い合わせ・申し込み Tel090-6078-0835(本宮宏美)

南峰と歩く

⑬

瀬戸(せと)

表情豊かな岩や淵を束ねる総称

天狗ヶ岳の断崖下に広がるのが瀬戸と呼ばれる景勝である。川床には奇岩、巨岩が横たわり、川が幾筋にも分かれたり、合わさったりし、奔流あり淵あり瀬ありの表情豊かなエリアだ。探勝路はやや高い所を通っているが、水辺へ下りられる

渡り易い「瀬渡」

小径がいくつもある。名称の由来は熊南峰をはじめ何の言及もない。対岸に渡り易い場所という意味で「瀬渡」ではないかと想像

蓬萊岩という大岩が川の中央に鎮座する。

一九二二年、南峰や斎藤露翠の案内で本格的な探勝団が入った際

マップから消える

現場に看板はなく、現在のマップにも「瀬戸」はない。蓬萊岩の他に鑿岩(くりいわ)、瓢淵(ひさごぶち)、親子岩、天狗岩などの記載はあ

南峰は景勝名として瀬戸

は失われている。南峰は景勝名として瀬戸を設定し、構成要素に各自

豪雨被害と復旧状況および事故内容

| | | |
|----|-----|---------------------------------|
| 7月 | 6日 | 大雨のため正面口通行規制 |
| | 7日 | 峡内の探勝路全区間を閉鎖 |
| | | 竜ノ口、梅崎、石樋、ぐるの瀬で土石流 |
| | | 竜ノ口、石樋、ぐるの瀬は黒淵荘スタッフが人力で撤去 |
| | 11日 | 正面口一女夫淵、水梨口二段滝が通行可 |
| | 14日 | 倒木撤去後、猿飛渡舟の営業再開 |
| | | 石樋は町が県へ撤去要請、予算確保後に撤去 |
| 8月 | 3日 | 女夫淵一黒淵が通行可、渡舟の営業再開 |
| | 13日 | 豪雨。赤滝で落石、倒木、橋の一部破損 |
| | | 落石、倒木を黒淵荘のスタッフが撤去 |
| | 14日 | 赤滝近くで家族を撮影中に、後ろ向きで歩いて転落。救助ヘリで搬送 |
| | 18日 | 竜ノ口付近で、こぶし大の落石があり、入峡者が頭部負傷 |